スキル科
（総合的な学習の時間）

3年 真光寺川学習・川体験

3学期へ続く

6/27（金）

ゲストティーチャー

真光寺川を清流にする会のみなさん

お天気にも恵まれ、授業と川体験を行いました。授業では、川の生き物や真光寺を清流にする会の活動を、クイズを交えて楽しく学びました。川体験では、事前に会の方が設置してくださった仕掛けを、わくわくしながら引き上げました。お話と体験の２グループに分かれ、広場ではミニ水族館でオイカワ、ヨシノボリ、ドジョウ、エビなどを観察、川のゴミの問題についても学びました。川ではエビや魚の他、アメンボを捕まえたり、ゴミの問題を意識してゴミ拾いをする姿も見られました。お話を聞き、体験することが、自分たちの住むまちへの関心やできることを考える機会へつながりました。

川に入るにはリスクが伴うため、事前に会の方、学校、VCとで入念な打ち合わせを実施。会のみなさんには網を貸していただいたり、事前にほらの仕掛けや川の魚を捕獲してミニ水族館をご用意いただいたりとたくさんのサポートをしていただきました。

4年 ヤママユガを育ててみよう

2学期へ続く

4/25（金）

ゲストティーチャー

桑原 紀子さん

2学期に繭から糸を紡ぐ方法を教えてくださる動植物のスペシャリスト！

鶴二小の子どもたちに「クヌギの豊富な鶴川で、授業でヤママユガを育てたら面白いのでは」とご提案いただいた佐藤勇治さん（飼育の達人）の思いをつないで、今年度もヤママユガを育てます。最初にもう一人の達人である桑原さんにお話とその育て方を聞きました。

桑原さんとヤママユガの出会いのきっかけは、散策中に繭を拾ったこと。繭の繊維を引っ張ったら糸が出てきて、織物に使えるのでは？と思い、たくさんのヤママユガを飼育するようになったそうです。カイコ（家蚕）とは違い、綺麗な黄緑色をしているヤママユガ（天蚕）の糸は、繊維のダイヤモンドとも呼ばれていますが、実は幼虫時代にもその体に宝石をまとっているんです。そのことを書いた穂高（ヤママユガの産地）の小学生の詩を紹介していただき、子どもたちはヤママユガへの感心を強めていました。虫が苦手でも当たり前！それでも飼育を通して、何かしらの発見をしてほしいと思います。

校内で育てていましたが、暑くなってくると閉め切った校内では風もなく蒸れるため、7/9 に外のクヌギの木への引越しをしました。用務さんに作ってもらった囲い（ストーブの囲いを再利用）にネットをかけ、その中に放しました。